



# 財政力指数を比較すると

前回は予定を変更して8・7豪雨災害の財政的側面についてお話をしました。今回は、前々回の財政調整基金の類似町村・近隣市町比較に続いて、もう一つ重要な指標である財政力指数について比較していきます。

## 必要な額に対する自主財源の割合を数値化

財政調整基金は町のメインの貯金で、過去に積み上げた金額です。一方、財政力指数は、その自治体が標準的に必要とするであろう「基準財政需要額」を1とし、町税などの自主財源を基に計算した「基準財政収入額」がどれくらいの割合かをみるものです。

したがって、財政調整基金がこれまでの蓄積を見るものに対し、財政力指数は単年度の「稼ぐ力」を見ていくのに重要な指数と言えます。なお、基準財政需要額と基準財政収入額の差が、国から地方交付税として配分されます。

先日、最新版の「長野県市町村ハンドブック」令和6年版が届きましたので、その最新数値であ

る令和5年度の数値と比較します。なお、財政力指数の基となる数値は年度ごとにも算出可能ですが、一般的な3カ年平均で比較します。

## 財政力指数も類似町村で2位

人口1万～2万人の13町村のトップは坂城町の0.62です。御代田町はそれに次ぐ第2位で、0.60です。同じ佐久管内にある佐久穂町は最下位で0.24でした。

佐久、小諸の2市と北佐久郡3町の比較では、軽井沢町の1.52が目を引きます。令和4年度の固定資産税額66億6500万円は人口で5倍近い佐久市の57億5400万円をも大きく上回るほどで、この固定資産税の多さが高い財政力の秘密、です。指数が1を超えているので、国からの地方交付税は県内で唯一不交付となっています。このように、御代田町は軽井沢町と比較すると大きく見劣りしますが、他の3市町と比較するとかなり良好ということも分かります。

## 類似町村、佐久市部・北佐久郡内の財政力指数の比較

佐久地域2市と北佐久郡3町

| 自治体名        | 財政力指数       | 人口            |
|-------------|-------------|---------------|
| 軽井沢町        | 1.52        | 21,510        |
| <b>御代田町</b> | <b>0.60</b> | <b>16,221</b> |
| 小諸市         | 0.58        | 41,623        |
| 佐久市         | 0.51        | 98,198        |
| 立科町         | 0.32        | 6,843         |

人口1万人台県内自治体

| 自治体名        | 財政力指数       | 人口            |
|-------------|-------------|---------------|
| 坂城町         | 0.62        | 14,254        |
| <b>御代田町</b> | <b>0.60</b> | <b>16,221</b> |
| 南箕輪村        | 0.54        | 16,010        |
| 下諏訪町        | 0.53        | 19,108        |
| 富士見町        | 0.52        | 14,226        |
| 辰野町         | 0.45        | 18,611        |
| 高森町         | 0.41        | 12,918        |
| 小布施町        | 0.40        | 10,992        |
| 松川町         | 0.38        | 12,742        |
| 山ノ内町        | 0.37        | 11,499        |
| 木曽町         | 0.26        | 10,219        |
| 飯綱町         | 0.25        | 10,534        |
| 佐久穂町        | 0.24        | 10,488        |

### 今回の結論

町民の「稼ぐ力」は良好

次回は、「町は黒字？ 赤字？」と題し、決算の読み方を紹介します。



過去の講座はこちらよりご覧いただけます

※財政力指数(3カ年平均)は令和5年度の数値  
人口は令和5年1月1日の住基人口  
いずれも「長野県市町村ハンドブック(令和6年版)」による